

東京都済生会中央病院で診療を受けられる皆様へ

東京都済生会中央病院（以下、当院）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の【お問い合わせ先】へご連絡ください。

【研究の名称】

当院における International repatriation（国際患者搬送帰還）の実態

【研究機関及び研究責任者】

研究機関：東京都済生会中央病院・救命救急センター

研究責任者：入野 志保

【研究の目的】

近年、我が国に入国する渡航者数増加に伴い、当院に搬送される外国人患者さんも増加しています。その中でも救命救急センターに入室となる患者さんは特に重症な病態を来しており、治療期間が長期となり帰国後も医療継続が必要となる場合があります。これらの患者さんの特徴を抽出し、外国人重症患者さんの本国送還の実態を明らかにすることで、帰国準備をスムーズに行うことを目指します。

【研究の方法及び期間】

研究の方法:通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

研究の期間:当院の臨床研究倫理審査委員会承認後から2027年3月31日。

【研究対象者の選定について】

・対象となる患者さん

2012年7月から2025年4月までに、当院の救命救急センターに入室となった外国人傷病者のうち、帰国後も入院治療継続が必要となった患者さん。

・利用する診療情報

入国理由（旅行者かどうか）、搬送帰還時の随行者の特徴（医師随行、看護師随行）、帰国手段、原疾患、来院時の意識障害の有無、搬送途上に必要となった医療行為。

【対象となる患者さんに生じる負担並びに予測されるリスク及び利益】

本研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われるため、患者さんへの負担、リスク及び利益は発生しないと考えます。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は以下の[問い合わせ先]にご連絡下さい。そ

の場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

【本研究の実施について】

本研究は、臨床研究倫理審査委員会による審査の上「承認」、研究機関の長による「許可」を得て実施しております。

【問い合わせ先】

東京都済生会中央病院・救命救急センター

東京都港区三田 1-4-17 電話：03-3451-8211（代表）

受付時間 平日；9：00～17：00 土曜：9：00～12：30

担当 入野 志保